

Yamaka Topics

ヤマカトピックス

世界的にみるサンマ漁



サンマは北太平洋を代表する水産資源。生産国は自国水域で漁獲できる日本とロシアが主体ですが、公海をメインに他国水域に入漁料を払って漁獲する台湾、中国、韓国といった国々もあり、需要国は前述の5か国に加え、最近では東南アジア各国にも広がっています。日本の生産量は不漁記録を更新。**前年比で66%減と50年ぶりの最悪の状態**。北太平洋全体のサンマ資源減少は深刻でどの国も自国需要を賄えず、それぞれのマーケットに合ったサンマを融通し合う状態です。**日本も台湾から冷凍サンマを輸入**して需要を補っていますが世界的不漁ということで、従来の2倍近い価格になることもあり、庶民には遠い存在になってきました。今後は国際間での資源管理の強化が一層強まりそうです。

19年 外食市場は拡大



日本フードサービス協会、は2019年の外食産業市場規模を公表しました。前年比で1.3%増の26兆439億円となったそうです。1997年に29兆円を記録してから一時減少しましたが、2011年からは8年連続の増加となりました。要因としては1人当たりの支出額の増加や訪日外国人の増加などが挙げられるそうです。また、持ち帰り弁当、総菜類も昨年比1.6%増の約8兆円で11年連続の伸びとのこと。

 入荷状況&商品情報

10、11月
甘エビ
◎ブリ
◎ガスエビ
ササカレイ
メギス
◎アオリイカ
アマダイ
ノドグロ
ミズウオ
◎ベニズワイガニ



底引き網漁の解禁後は、入荷はあるものの全体的に魚体が小ぶりです。

カレイ類は赤ガレイが高め。ササカレイは量がまとまっています。アオリイカは小型が多いようです。ガンドも型が小さめ。また、シイラなどの夏物が遅れて入荷しています。



◎金沢では**10月1日より**、**地物ブランド**としてアマエビを**金沢甘えび**として売り出します。身の大きさ、鮮度の良さで差別化をはかり販路拡大に繋がりたいとしています。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。